

守ろう生命 かぶろうヘルメット



— 鶴尾校区 自転車ヘルメット着用作戦 —

道路で自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶります

四国新聞 2021年7月21日付



自転車 ヘルメット着けて

鶴尾小 P T A 寄贈、児童に貸与



P T A 役員からヘルメットを受け取る児童—高松市松並町、鶴尾小

習い事などで自転車に乗る機会が増える夏休みに合わせて児童の安全を守ろうと、高松市松並町の鶴尾小学校（田中義人校長）の P T A（湯浅泰行会長）が 20 日、同校に自転車用ヘルメットを寄贈。同校は、希望した 4 ～ 6 年生計 47 人にヘルメットを貸し出した。

同校が 6 月、児童のヘルメット保有率を調査したところ、4 割にとどまった。習い事などで自転車に乗る機会が増える夏休みに合わせて児童の安全を守ろうと、高松市松並町の鶴尾小学校（田中義人校長）の P T A 役員らが児童一人一人にヘルメットを手渡した。担任から「命を守るために正しく着用しましょう」と指導を受けると、児童は早速、自分の頭に合うように顎ひもなどを調節していた。

ヘルメットを受け取った 5 年の増田有莉果さん（10）は「友達と遊びに行くときなどに自転車をよく使うので、もしもの際に、けがをしないようしっかりとかがぶりたい」と話した。